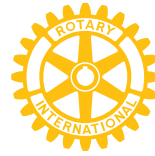


Rotary
District 2680



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014-2015



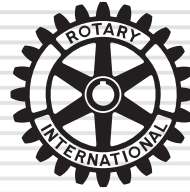
GOVERNOR Koji Takizawa

OCT. 2014
vol.4



Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のよう行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。



ガバナーズレター.....	1
対談シリーズ「ガバナーと話そう」.....	2
I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN総会／職業奉仕阪神地域セミナー／	
第3回全国インターアクト研究会及び第1回全国インターアクト地区委員長会議.....	4
第32回インターアクト地区年次大会／青少年奉仕セミナー.....	5
公式訪問だより.....	6
コーディネーターニュース/Rotary Breeze.....	8
地区委員会報告.....	9
2017-18年度「ガバナーノミニー候補者」推薦のお願い.....	11
ご入会おめでとうございます／ご協力に感謝します／訃報.....	12
ガバナー事務所からのお知らせ／地区活動予定／文庫通信.....	13
出席報告	

❖今月の表紙

「丸山集落」

篠山市街地から車で10分足らずの山間にある「丸山集落」。

過疎化が進み、空き家が目立つようになった。

住民とNPOが協力して、築後150年以上の重厚な農村民家や田畑などを活用。食や暮らしなど里山の魅力を体験できる場として、人気を集める観光スポットとなっている。



ロータリークラブの会長と幹事の皆様

国際ロータリー第2680地区

ガバナー 滝澤 功治 (神戸須磨)

秋が次第に深まってきます。皆様にはいかががお過ごしでしょうか。

今年の夏は異常気象が続きました。当地区でも丹波地域で大雨による土砂災害が発生しました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

10月は職業奉仕月間と米山月間です。ロータリーで最も忙しい月の一つです。

ロータリーの職業奉仕の意義を学ぶ

私たちはロータリーに入会して以来、ロータリーの基本は職業奉仕であり、職業奉仕こそはロータリーのロータリーたるゆえんのものであると教えられてきました。ロータリーはそれ自体が人生哲学であり、私たちの生き方の指針となるものですが、その根幹をなす考え方が職業奉仕の理念であることに異を唱える人はいないでしょう。他方で、職業奉仕は難しくてわからないという声も根強くあります。「人生哲学」とか「理念」という言葉がいかにもとっつきにくく、わかりにくいというイメージを与えているのかもしれませんが。

本年1月に開催された国際協議会、集まったガバナーエレクト達に、カルヤン・パネルジー国際ロータリー元会長(2011-12年度)は、「Our Rotary Values」(私たちのロータリーの価値観)というタイトルで次のように話されました。「親睦と多様性がロータリーの大切な価値観であるのはもちろんですが、ロータリアンの最大の長は、高潔性、すなわち私たちの職業における高度の倫理性です。この職業奉仕という概念を通じて、ロータリーは、他のいかなる団体より物事をうまく進めたいけるのです。「職業における倫理性こそ、私たちロータリアンが自由競争の世界で実践しなくてはならないことです。」非常に印象的で深く心に残りました。浅学でどのように自分の考えをまとめていけばよいのか悩んでいた私は、このスピーチを聴いて少し目の前が明るくなったような気がしました。

私たちは文字どおり生業として様々な職業に従事していますが、ロータリーの目的の第2に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と規定されており、日々「高潔性」を旨として職業生活を送るべきものです。高潔とは、広辞苑によれば「気高くいさぎよいこと」とあります。「人柄がよく、利欲に心を動かさないこと」と解説している辞書もあります。ロータリーに入れば、入るだけでそのような高潔な人格になれたらよいのですが、凡小の身としては高い山を仰ぎ見ながら登るように、目標に向かって日々少しずつ歩を進めるよりほかありません。それがロータリーであり、そのことに喜びを見出すのがロータリーであると思います。

職業奉仕はわかりにくいと言う前に、クラブで職業奉仕について話し合う機会を設けてください。自分の考え方をとりあえず発言する、他の会員の話を聞く、そうすることによって考え方が少しずつ整理されてきます。何かしら思い当たり、実感することがあるはずです。

職業奉仕月間を、是非職業奉仕について学びきっかけにしてください。

米山について考える

私は2007-10年度の3年間、地区米山奨学委員長を務めました。毎年10月にはいくつものクラブに出かけて卓話をしたことを思い出します。そのころ当地区の会員一人当たりの寄付額が全34地区の真ん中あたりを上下していましたので、一つでもランクを上げようと一所懸命でした。前年度は19位、真ん中より下、残念

ながら状況は変わっていないようです。

7月21日に当地区の米山奨学セミナーを開催しました。セミナーの後半で小グループによる意見交換を行いました。大きく二つの問題が取り上げられていたように思います。一つは奨学生が特定の国に偏っているのではないかと、そして二つ目は経済的に余裕がある(と見える)奨学生に奨学金を渡すことに意味があるのか、というものです。これは私が数年前に各クラブで卓話していたときに質問を受けた問題でもあります。つまり状況は変わっていないということでしょう。

このような大きな問題に的確にお答えする力は残念ながら私にはありません。前者についていえば、地区内の全留学生の圧倒的多数が特定の国からの留学生で占められているという現実、そしてその留学生が優秀であるという現実、米山奨学会が公益財団法人であって、奨学生の選考は純粋かつ厳正に公平に行わなければならないという決まり、それらのことからすれば現在の選考に問題はないというよりほかありません。国と国との関係が今はぎくしゃくしているとしても、奨学生が将来、国際的に活躍する有用な人材となることを期待して事業を進めているのですから、彼らが社会の指導的位置を占めるときには状況は必ず変わり、真の友好が実現すると信じています。後者についていえば、確かに経済的に余裕のある学生もいるでしょう。生活費に加え、大学の授業料もずいぶん高額なのですから、そもそも余裕がなければ日本に留学すること自体が難しいだろうという推論もわからないわけではありません。しかし、米山奨学事業が、2006年の制度改編によって、事業の使命を「将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する」として、それ以前の「救貧」を目的としていた時代から大きく舵をきった以上、その方向に進めるべきものです。方針変更は全国のロータリアンにアンケートを実施した結果に基づくのですから。

私は米山に対する厳しい意見に接するたび、そのような意見をお持ちの方に一度奨学生と話し合ってみてくださいと言いたくなります。奨学生の勉学に対する真剣な態度、将来に大きな希望を抱いている姿に心を動かされると思います。確かに一部の奨学生には責任感に乏しかったりして、私たち日本人の目から疑問に思う行動があったりします。しかし注意すべきところは注意するとしても、まずは選考に携わった私たちが反省すべきだろうと思います。どの世界にもそのような人はいるものだから、もっと厳正な選考をして、真にロータリーの付託に応える優秀な人材を支援するようにしなくてはならないと思います。

私は、米山は「クラブでできる、例会でできる身近な国際交流」をキャッチフレーズにしてみました。ロータリーで多分、最も身近な国際交流であると思います。

世話クラブの皆様とカウンセラーの大役を引き受けていただいたロータリアンには心より感謝申し上げます。そして、まだ世話クラブの経験のないクラブにも、是非ともそのような経験を共有していただけるよう、知恵を出していかねばならないと考えています。今後とも米山奨学事業の支援をお願いします。

公式訪問は半数のクラブの訪問を終えました。お世話になったクラブには御礼を申し上げます。そしてこれから訪問するクラブの皆様にはどうぞよろしくお願いたします。

皆様のクラブが今月、職業奉仕に、米山に、素晴らしい成果を挙げられることを期待しています。クラブの皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

対談シリーズ「ガバナーと話そう」

職業奉仕
委員会

滝内 秀昭 委員長 VS ガバナー 滝澤 功治

滝澤：10月は職業奉仕月間です。今年度、職業奉仕委員長の大役を引き受けられました。

滝内：確かに職業奉仕はロータリーのCORE VALUE(根幹的価値観)ですから、責任は重いし大変です。何とかガバナーの行動方針である“TRY SOMETHING NEW!”「何か新しいことをしよう」を職業奉仕委員会として実践し結果を出したいと思います。

滝澤：滝内さんご自身はロータリーの職業奉仕について、どのように学ばれたのですか。

滝内：私は、伊丹ロータリークラブの所属ですが、知人から「勉強がしたいのなら伊丹ロータリークラブに入会しなさい。諸先輩が元気でたくさん話が聞けるよ」と誘われ入会しました。入会してから、「人(男)は大人の人(男)によって、大人の人(男)に成る」と教えられました。実際、答えを求めている時に、その場で的確な答えを教えてもらえる、そんな素晴らしい会員が多数在籍しています。職業奉仕については「純ちゃんの3分間スピーチ」「ロータリーの集い(職業奉仕勉強会)」「企業・専門職倫理を聞く会(本年度)」など、何かしら勉強会が毎月のように行われています。

滝澤：それは素晴らしいですね。でもどのクラブでも、そのような会員に対する研修が行われているとは限らないでしょう。むしろ今会員数が減少してクラブの維持運営が大変で、研修にまで手が回らないのが現実のように見えます。私は、クラブの手が足りないところを補い、そしてクラブを指導・支援するのが地区の大きな役割だと思っています。そういう意味で地区の職業奉仕委員会の役割は大きいと思うのですが、どのような活動を計画していますか。

滝内：当地区のテリトリーである兵庫県は南は淡路から北は日本海までと広いし、会員の意識も様々ですが、私は職業奉仕に関する資料や書籍などの情報を会員やクラブに提供して、クラブレベルで職業奉仕を学ぶきっかけ作りのお手伝いをするのが最大の役割だと思っています。それから、この地区のバスターガバナーは勉強家がそろっていますから、職業奉仕の原理や哲学、現在のグローバルな社会のもとの職業奉仕などいろいろな考え方を教えていただけます。そういうバスターガバナーの皆様は、新会員や入会希望者にも理解できるロータリーの魅力としての職業奉仕を教えてください場を設けることも地区の職業奉仕委員会の大切な役割だと思っています。



滝澤：私も同感です。私はその意味で、今年度、複数回、複数場所で職業奉仕セミナーを開催するようお願いしました。委員会の皆さんにはご負担をおかけして申し訳ありません。既に8月2日、阪神地域セミナーが開催されましたが、いかがだったでしょうか。

滝内：ガバナーがセミナーを何度もやってほしいと言われたときは正直戸惑いました。でも確かに一人でも多くの会員に来てほしいですから、やるべきだとも思いました。8月2日のセミナーは、内容は少々欲張って、バスターガバナーお二人に日本的経営と国際的経営、理論面と現象面、過去考察と将来考察と対象的な講話をしていただきました。時間が少し長くなったのですが、総じて参加者の反応は好意的であったと思いますし、成果は上々であったと思っています。セミナーに参加された皆さんから様々な意見をいただきましたので、そのご意見を参考にして、参加された皆さんに時間を感じさせないような進行にするにはどうしたらよいかなどを委員会でよく話し合っています。

滝澤：今回のセミナーでは会員ではない人の参加も呼びかけられました。

滝内：職業奉仕の理念はロータリーのみならずあらゆる職業人に共通の理念だと思いますし、特に今、事業承継を考えている方が多いと思いますが、私は、承継する側の若い人にもこの職業奉仕の勉強をしていただきたいと考えました。今回の阪神地域のセミナーでもお一人だけですが、息子さんを参加させた会員がいらっしゃいました。今後このような方がふえていけばよいなと思っています。

滝澤：ロータリーの職業奉仕の理念が社会にさらに広がればよいですね。期待していますよ。



滝澤：委員長の米山奨学事業に対する思いを教えてください。

林：米山奨学事業は人を創る事業だと思うのでやりがいを感じています。また、米山は年間を通してさまざまな事業があるのですが、委員の皆さんが何か手伝うよ、と言ってくれ委員長を支えてくれます。素晴らしい仲間に出会えて良かったと思っています。私自身がこの事業によって成長させてもらっているといつも感じています。

滝澤：これまでカウンセラーを何度かされているようですが、いかがでしたか。

林：最初の奨学生は、2010～11年に中国から神戸大学の法学研究科に留学し、知的財産を研究していた留学生でした。将来は弁護士になるという夢を持っていましたが昨年の中国弁護士試験に見事に合格されました。今、博士課程3年です。2人目は、2011～12年に台湾から神戸大学の経営研究科に留学していた学生でしたが、卒業後は台湾に戻り日系企業に就職しました。台湾は台風が良く来るので、「ヘルメットかぶってるか？」とメールしていますが、先日、神戸に大きな台風が来た時に「お父さんヘルメットかぶってる？」とメールをもらい、思わず笑ってしまいました。

留学生は日本で卒業や就職など人生の中でも特に大きな経験をします。その貴重な青春時代の一瞬を一緒に体験することが出来て本当に嬉しく思います。

滝澤：私は米山奨学委員会には独特の難しさがあるように思いますが、どうでしょうか。

林：私もそう思います。ロータリーに対する会員の取り組みがそれなりにあるのと同じで、米山に対する思いも人それぞれではないでしょうか。

しかし、委員会活動をするうちに、私が考える米山の思いを知ってもらいたい。そのためにもっと米山のことを知ってもらう活動をして行きたい。米山の活動を通して一人でも共感してくれる会員が生まれてくれることを願っています。

滝澤：奨学生の出身国が偏っているという批判につ



いては、どのように思いますか。

林：そういう意見はよく聞きます。しかし、米山奨学事業の目的は、ロータリーを通して日本の文化・習慣などに触れ、社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人材育成です。ですから、奨学生には母国に限らず国際社会で活躍することが期待されています。

教育には時間がかかります。世事に惑わされることなく継続が大事なのではないでしょうか。世話クラブやカウンセラーが奉仕活動などで奨学生と一緒に汗を流すことでお互いに理解が深まると思います。実際に卓話などで奨学生と交流した会員は一律に素晴らしい奨学生だと認識されています。

滝澤：7月21日に米山奨学セミナーと奨学生との交流会を開催されました。ロータリアンや奨学生の反応はいかがでしたか。

林：今年の米山奨学セミナーは8つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。参加した会員からは、日ごろの米山に対する思いや要望・疑問などを直接聞いて大変良かったとの感想を頂きました。今後の活動の指針にしていきます。

滝澤：米山学友の活動について今後どのように進めていくか、何かお考えがありますか。

林：合同でのボランティア活動が出来れば嬉しいです。地方自治体などのイベントに国際性を生かした模擬店などで参加しても面白いのではないのでしょうか。

◆ I.Y.F.R. 神戸フリートJAPAN 総会

7月27日(日)◆ベルポート芦屋

I.Y.F.R. 神戸フリートJAPAN幹事 喜多 美雄(加古川中央)

7月27日(日)ベルポート芦屋にて神戸フリート第21回総会が、滝澤ガバナー、丸尾ガバナーエレクト等の地区役員出席のもと、開催されました。事業報告並びに会計報告の後、本年度の事業計画案が審議され、大庫俊介新コモドア(加古川中央)のもと、Rotary Fellowshipに沿った様々な事業が展開される予定です。また、総会後には、多くの家族の参加もあり、華やかな雰囲気の中で、懇親会が行われました。

I.Y.F.R.(ロータリアン国際ヨット同好会)は最大かつ最古のロータリ親睦グループです。神戸フリートは現在61名の会員がヨットを通じて親睦を深めています。



◆ 職業奉仕阪神地域セミナー

8月2日(土)◆伊丹市産業・情報センター マルチメディアホール

職業奉仕委員長 滝内 秀昭(伊丹)

2014-15年度の滝澤ガバナー行動方針「TRY SOMETHING NEW!何か新しいことをしよう」のもと、今年度職業奉仕委員会では、地区内5か所(伊丹、神戸、姫路、洲本、豊岡)で職業奉仕セミナーを開催いたします。

第一弾として8月2日(土)阪神地域セミナーを開催いたしました。当日は、酷暑・雨という天候でしたが、尼崎、阪神第1~3グループを中心として、133名という多数の参加をいただきました。中でも、今年度は、ロータリアン以外(できれば将来のロータリアン候補)の参加も推奨しており、ロータリアンのご子息で事業継承予定者の参加もいただきました。

セミナーは滝澤ガバナーの挨拶に続き第一部として深川純一パストガバナーによる「会社はだれのものか」という講演、そして丸尾ガバナーエレクトより謝辞をいただき、第二部として安平和彦パストガバナーによる「企業の社会的責任(CSR)」という講演を行いました。

お二人のご講演はテーマこそ違いますがロータリーの職業奉仕論を理解する上で、大変貴重な内容で参加者には大好評でした。

その後、グループディスカッションを行い、講演に対する感想、各クラブでの職業奉仕の取り組みに関する情報交換を行い、盛会の内に閉会いたしました。



◆ 第3回全国インターアクト研究会及び第1回全国インターアクト地区委員長会議

8月10日(日)~11日(月)◆神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル

インターアクト小委員長 三木 健義(姫路)

台風11号が近畿地方を直撃する8月10日、1時間遅れで第3回全国インターアクト研究会及び第1回全国インターアクト地区委員長会議が開会され、交通機関が乱れる中、全国各地から64名のロータリアン、34名のインターアクト顧問教諭の参加を得て、熱心な研究会となりました。

大会テーマを「世界をむすぼう!!」とし、神戸国際会議場に於いて開会式の後、羽衣学園の米田謙三先生よりご講演をいただき、災害救援、地域貢献、環境保全、国際理解の分科会と全国インターアクト地区委員長会議に分かれ会議が開催され、記念撮影の後、11校によるポスターセッションが行われました。

1日目の懇親会より会場を神戸ポートピアホテルに移し、2日目の11日は、9時より青少年奉仕の取組に関するパネルディスカッションが行われ、黒田正宏元RI理事の総評をいただき、閉会のセレモニーの後、散会となりました。

今回は、北清治RI理事、杉谷卓紀RI理事をお招きし、開会式、閉会式、委員長会議において示唆に富むご挨拶をいただいたことをご報告いたします。

荒天の中、準備設営に携われた2680地区の関係者の皆様、ご参加の皆様には心より感謝を申し上げます。





◆ 第32回インターアクト地区年次大会 8月17日(日)～18日(月)◆明石市立西部市民会館など

インターアクト小委員長 三木 健義(姫路)

大会テーマ「共に生きる…いのちの大切さを伝える人の精を皆で作ろう」

8月17日(日)11時開会～8月18日(月)12時閉会で第32回インターアクト地区年次大会が開催されました。参加校は、地区内16校とゲストの磐城農業高校。参加者数はインターアクター、顧問の先生、ロータリアン等合計223名となりました。

大会内容は、まず明石市立西部市民会館にてセレモニーの後、「共に生きる」のテーマのもと、各学校の取組報告、株式会社伊藤園CSR推進部長近本明彦氏よりの取組報告があり、基調講演では、講師の前川裕美氏による、ご自身の眼の病の中で体験したことを交えながらの感動的なご講話があり、その後すばらしいピアノ演奏と歌唱の披露及び磐城農業高校生による、東日本大震災を体験しての発表がありました。

その後明石市立少年自然の家へ移動し、夕食後には班に分かれて10個の表題に関して、福島県と兵庫県の特徴について討議し、ボードにまとめる作業を行いました。2日目には、ボードの内容発表と、残りの活動報告があり、セレモニーの後閉会しました。



◆ 青少年奉仕セミナー 8月31日(日)◆神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

青少年奉仕委員長 黒田 建一(西宮夙川)

本年度の青少年奉仕セミナーは、クラブ関係者登録229名と地区関係者約30名の参加を得て無事終了しました。

当委員会は5つの小委員会を擁し、その活動の要旨報告をするだけでも30分以上かかり、危機管理委員会の説明も加わる為、非常にタイトなプログラムの立て方となっています。その中であって柏原RC森田茂樹青少年奉仕委員長による氷上高IAC、氷上西高IAC、柏原RAC、RYLA学友会 長坂泰成氏による龍野北高IACの設立経緯報告は、当委員会が本年度力点においている複数プログラムのクロスプロモーションの成果でもあり、興味深いものであったと思います。奥田裕RYLA学友による国際RYLA報告、奈良山公佑君による短期青少年交換報告、松本恵里奈さんによる新世代奉仕交換報告(ビデオ)は、青少年達が海外で多くのことを学習したことの報告として、当委員会としても参考となるものでした。セミナーの成果は、終了後回収された評価書によって明らかになるものと思われませんが、多数の参加者に出席頂き、途中退席の方もほとんどおられなかったことから、セミナーとしては成功したものと思っております。



公式訪問だより



高砂ロータリークラブ

◆8月1日(金)



ガバナー公式訪問の日はとても緊張しましたが、滝澤ガバナー・門田地区代表幹事より優しく丁寧にご指導いただき、懇談会はなごやかに終えることができました。高砂ロータリークラブでは友愛奉仕活動という独自の奉仕事業を行っています。3,000万の基金をもとに高砂市内で奉仕活動を行っている団体に年間300万までの金額を助成しています。



姫路南ロータリークラブ

◆8月4日(月)



我がクラブは昭和33年2月10日姫路クラブをスポンサーとしてメンバー28名で発足しました。現在は74名です。ロータリー米山記念奨学会寄付累計金額は第2680地区ナンバー1であり、また例会出席率も常に90%を超えています。



姫路ロータリークラブ

◆8月5日(火)



台風の間、幸いに天候にも恵まれ、4年ぶりに真新しい姿を現した姫路城大天守を見上げる例会場に滝澤ガバナーをお迎えし、和やかな中にも高潔性あふれるRIテーマやガバナー方針について講話を頂きました。



芦屋ロータリークラブ

◆8月6日(水)



今年度のRI会長は「LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを」をテーマとされ、公式訪問での滝澤ガバナーは私たち自身が明るく光り輝く存在となり、その上で、世界中の暗闇に光を当てる努力をと有意義なお話をされました。行動方針である「何か新しいことしよう」を念頭に置いて、今年度55周年を迎える伝統ある芦屋ロータリークラブは、魅力あるクラブ作りを行うと共に、地域のニーズに合った奉仕活動のスタートの年にしたいと思っています。



加古川ロータリークラブ

◆8月19日(火)



加古川ロータリークラブの自慢は、平均年齢は少し高めですが、メンバーの仲も良く、ロータリー歴の永い会員、若い会員、それぞれの役割を認識しており、目標があれば言葉がなくても理解ができ、一致団結し行動できる仲間だということです。



神戸垂水ロータリークラブ

◆8月21日(木)



3名の新会員を迎えて新しい年度を、明るく力強くスタートしました。創立40周年を迎え、会員一丸となって素晴らしいクラブを造るために、活動しております。公式訪問で滝澤ガバナーの高話を賜り、新会員をはじめ、会員一同、決意新たにロータリー活動に邁進いたします。



尼崎北ロータリークラブ

◆8月22日（金）



尼崎北ロータリークラブは昭和38年9月に設立しました。会員数は40名でチャーターメンバーも1名在籍し引き続き活躍されており、親睦活動や同好会活動が活発なことも自慢です。今後も有益な例会運営に尽力致します。



宝塚ロータリークラブ

◆8月25日（月）



1957年創立。古い伝統を重んじる会員が多い一方、40代の会員が約4割を占めているのが特色の一つです。伝統を重んじながらもfacebookの活用など積極的に新しい取り組みを行い、和気藹々と活動しています。



洲本ロータリークラブ

◆8月26日（火）



計馬、中村の二人のガバナーを輩出し、2016年には60周年を迎える伝統あるクラブであります。今年度、中村パストガバナーをSAAに例会の引き締めを行いました。公式訪問においても、すべての会員が滝澤ガバナーのお話に傾聴した引き締まった例会でありました。



相生ロータリークラブ

◆8月27日（水）



RC活動を地域にPRしつつ、若い新会員を増強委員会だけでなく皆で勧誘しています。出席100%を続けられるのは、年長者からのプレッシャーではなく、全会員が頑張って続けようと、想いを一つにしているからです。



龍野ロータリークラブ

◆8月28日（木）



滝澤ガバナーには、会長・幹事懇談会において的確にクラブ運営についてご助言をいただき感謝いたしております。ガバナーのお人柄は、我がクラブの設立以来のテーマである「親睦こそ我がクラブ」の精神に近いものを感じました。



南淡路ロータリークラブ

◆8月29日（金）



28名中4名が女性会員の、親睦をモットーにしているクラブです。滝澤ガバナーの話された「新しいことへの挑戦」は自己を見直す機会になりました。また、会員宅の火事見舞いを快諾いただいたことを深く感謝申し上げます。

ロータリー公共イメージの推進

第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 敏彦 (新潟南)

2014年9月2日・3日の2日間に亘り、GETS（ガバナーエレクト研修セミナー）が東京で開催されました。1月の国際協議会に備えての事前研修第1弾ということで、ガバナーエレクトの方々は34名、大変有意義で楽しい(?)丸2日間を過ごされた訳であります。その中の2つのセッションで、「公共イメージの向上、推進」が取り上げられています。その内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーは意義ある活動を行っているにも関わらず、それが社会に認識されていない!!!」という事実から、ロータリーの公共イメージを改善する為に「ロータリー活性化」の取り組みが始まっています。それは、「リーダーのネットワークへ。アイデアを広げよう。行動しよう。」というロータリーの特徴を簡潔に表現したロータリーのエッセンス。これを土台に、ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしようとする取り組みであります。

1つ目の大きな柱は、ブランド戦略であります。まずロータリーのロゴが変更されています。2014年1月の国際協議会後に新しく登場したブランドリソースセンターには、ロゴに加えビジュアルアイデンティティのガイドライン、写真・動画等様々な資料や素材が用意されていますので、それを活用し、ブランド戦略を推進頂きたいということです。

2つ目は、「ボイス」の活用であります。それは、ロータリーのボイスの特性である4つの事柄（賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力）を意識して、対外的にはロータリー用語を避けて、出来るだけ簡潔な分かり易い言葉で、語りかけるように、相手に魅力的に聞こえる表現にすることであります。

上記の「ロータリー活性化の取り組み」を推進するため、ロータリー「戦略的優先項目と目標」があり、その実行部隊としてゾーン毎に地域コーディネーターチームが任命されています。

- ・クラブのサポートを強化 ⇒ ロータリーコーディネーター (RC)
- ・人道的奉仕の重点化を増加 ⇒ ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)
- ・公共イメージと認知度の向上 ⇒ ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)

「ロータリーの公共イメージ」を向上させるため、RPICの役割は大きく2つに分けられます。1つは、各ゾーン毎に地区、クラブ、ロータリアンに対して適宜・適切な情報を伝達することです。「PETS」「地区・研修協議会」等がありますので、要請があればそれぞれの場に赴き、「公共イメージの向上」に向けた情報提供を積極的に行わせて頂きます。

もう1つは、地区又はクラブの外部（地域社会）に向けた広報活動を効率的、効果的に行う為に必要な情報、方法論を提供することだと認識しております。

地域コーディネーターチームのうち、RPICを下記にご紹介させていただきます。

- 第1ゾーン 2007-08 RID2560 PDG 渡辺敏彦 (新潟南)
- 第2ゾーン 2012-13 RID2620 PDG 高野孫左エ門 (甲府)
- 第3ゾーン 2011-12 RID2740 PDG 岩永信昭 (長崎北東)

Rotary Breeze

第3回 ふたつのロータリーモットー

地区研修リーダー 久野 薫 (神戸東)

ロータリーにふたつのモットーがあります。「Service above Self」（超我の奉仕、他人のことを思いやり、他人のために尽くす）、「One profits most who serves best」（最も良く奉仕する者 最も多く報われる）であります。田中 毅、石井良昌両パストガバナーはこのふたつのモットーの真意を深く掘り下げて研究されている専門家であります。発案者の真意を短い日本語で正確に映しとる事は容易ではありませんし、言葉というものは一度発せられますとその解釈は受け取る側に委ねられます。「Service above self」はその元をなす「Service, not self」から考えて、自己を否定した宗教的色彩の強いモットーなのか。そうではないのか。一方職業奉仕の実践原理とされる「One profits...」のprofitsには金銭的な利益以外に精神的な利益まで包含されているのか。そうではないのか。両パストガバナーが一次文献を通して結論されるのは、このふたつのモットーは我々が考えてきたほど宗教的色彩の強いものではなく、共に「黄金律」“己の欲するところを人に施せ”を言葉を変えて表現した同根のものであるということでした。「黄金律」は宗教ではなく哲学なのです。ロータリーの求めている奉仕は「自己滅却の奉仕」ではなく「自利他利」であるためには「勿己利他」自分の事の前に人様のお役にたつことを考えなさいという自然の理だということなのです。



● 第3回VTT小委員会

8月2日(土)◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル

VTT小委員長 吉岡 博忠(伊丹)

グローバルVTT「ネパールの看護師能力向上プロジェクト」予備審査時に提唱クラブに改善要求していた以下の項目について申請書が完備されたことを確認した。クラブ提唱のVTTは初めての試みであるので、今後の参考のため本プロジェクト全体をモニタリングすることを決定した。

【提唱クラブに改善要求した項目】

- 研修内容、団員の事前日本語教育、研修目標、地元社会の人々の研修計画へのかかわり、重点分野との関係の明確化
- 活動の基準、目標、測定方法について、岩村病院、岡本病院の意見を大きく取り入れる。
- 予算の支出内容と見積り、相見積りの提出 ● 代表連絡担当者と団長の分離
- 団長の責務として、団員と常時行動を共にし、通訳の責務を遂行する。

● 第6回補助金小委員会

8月2日(土)◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル

補助金小委員長 室津 義定(尼崎中)

1. 議題

- ①地区補助金奨学金タイプ1の募集要項、申請書等を決定した。
- ②地区補助金奨学金タイプ2の募集要項、申請書等を決定した。
- ③2015年秋入学グローバル補助金奨学生の申請要項、申請書等を決定した。
- ④尼崎西RC提唱「ネパールの看護師能力向上のためのVTT」のロータリー財団への申請を認めた。
なお、プロジェクトの実施に際しては、VTT小委員会によるモニタリングを行う。
- ⑤GG1423051 (RID3800提唱：児童と家族のための図書館)の申請書が本地区へ提出された。
- ⑥「地区補助金の要件」の変更に対する対応：継続審議
- ⑦奉仕活動合同セミナー：継続審議 ⑧ロータリー財団セミナー：継続審議

● 第3回世界社会奉仕小委員会

8月16日(土)◆神戸ポートピアホテル724号室

世界社会奉仕小委員長 濱 浩一(神戸)

甲子園RCより申請のあった「児童と家族の図書館」(実施国RID3340：タイ)のグローバル補助金人道的プロジェクトを審議しました。地域からのニーズ、プロジェクトの目的、六つの重点分野への適応(人道的プロジェクト：識字率向上)、評価の測定可能性の具体的なシステムなどを確認・検討の結果、補助金小委員会に諮ることを決定しました。

また、地区に提出されたグローバル補助金人道的プロジェクトについては出来るだけ前向きに検討することと、もっと多くのクラブにプロジェクトへの取り組みを理解していただき、参加を呼び掛けて行くことを確認して小委員会を終了しました。



● 第5回青少年奉仕委員会小委員長会議

8月20日(水)◆神戸ポートピアホテル724号室

青少年奉仕委員長 黒田 建一(西宮夙川)

- (1)8月31日に開催予定の青少年奉仕セミナーのプログラム確定と会場設営の準備、
- (2)台風下の8月10日(日)~11日(月)に当地区主催により開催された全国インターアクト研究会の報告、
- (3)来年1月18日(日)に開催予定の当地区主催による青少年交換シンポジウムの準備協議、
- (4)来年3月21日(土・祝)に当地区企画により開催予定の全国RYLA研究会の準備協議、
- (5)地区委員とロータリーアクトクラブとの懇談会の実施準備 などについて各々協議を致しました。

● 第5回職業奉仕委員会

8月23日(土)◆神戸東急イン「ローズ」

職業奉仕委員長 滝内 秀昭(伊丹)

滝澤ガバナー、滝内委員長の挨拶後、阪神地域セミナーの結果について評価書をもとに議論を行いました。

主たる内容は、深川パストガバナー、安平パストガバナーの講演に関して参加者に対する資料提供の在り方、グループディスカッションの持ち方、セミナーの開始時間、時間配分について、セミナーへの複数回参加可能な呼びかけについて等々の議論を行い、次回の神戸地域セミナーに役立てることといたしました。

● 増強・拡大／研修合同セミナー準備会議

8月24日(日)◆神戸東急イン「ローズ」

研修委員長 久野 薫(神戸東)
増強・拡大委員長 名越 亮(川西)

各ガバナー補佐及び増強・拡大委員会、研修委員会の委員等に集まっていたいただき、合同セミナーの件につき協議し、以下の通りすすめることとしました。

- ◇時間配分 1時45分～2時45分(60分) 鼎談
2時50分～4時00分(70分) グループバズセッション
4時05分～4時45分(40分) グループバズセッション報告
- ◇会場 3人座りの机を口の字型に24人が座れるように設置する。
グループ別指定席とする。終了後、参加者全員で机と椅子を元に戻す。
- ◇鼎談 ガバナー・研修委員長・前研修委員長の鼎談。司会は、久野委員長が務める。
- ◇グループバズセッション
出席状況を見て、1グループが20人以下になるように12～13グループに分ける。

前記協議後、参加者全員より貴重なご意見をいただきました。皆様、壇上での厳しい鼎談を期待しているとのことでした。

● 第7回補助金小委員会

8月24日(日)◆神戸東急イン「メイプル」

補助金小委員長 室津 義定(尼崎中)

議題

1. VTTネパール看護師能力向上の調査報告
吉岡VTT小委員長から、①ネパールの概要、②岩村記念病院の現状、③岩村健康科学専門学校の概要、④協同提唱クラブPatan West、および⑤VTT団長、団員の紹介が行われた。
2. 奉仕活動合同セミナープログラム ▶引き続き検討する。
3. ロータリー財団セミナープログラム ▶引き続き検討する。
4. 「地区補助金の要件」変更に対する対応
①補助金管理セミナーは、個別プロジェクトとして使用計画に加える。②奨学生オリエンテーションは臨時費として支出する。③クラブが提唱し、補助金管理の責任を負うインターアクトクラブ、ローターアクトクラブを協力団体とする奉仕プロジェクトの申請を認める。
4. 地区奨学金タイプ1の所得制限額
クラブが推薦する奨学生候補者の保護者の「市民税・県民税(所得・課税)証明書」の所得額の上限を次の通りとする。すなわち、世帯数3名の場合360万円、4名の場合430万円、5名の場合470万円。なお、この原則に該当しない者の場合はその理由を付して推薦する。
5. 地区奨学金タイプ2の申請要項等 ▶決定した。
6. グローバル補助金人道的プロジェクトの審査
甲子園RCおよびRID3340(タイ)を代表提唱者とする人道的プロジェクト「児童と家族のための図書館」に関して、予備審査結果に基づいて審査し、資金調達が確定すれば、地区としてロータリー財団への申請を認めることに決定した。

● 第2回RYLA小委員会

8月25日(月)◆神戸ポートピアホテル724号室

RYLA小委員長 大江 与喜子(西宮恵美寿)

本年度RYLAセミナー(2015年5月21日～5月24日)のテーマはひらかなで「いのち」と決定した。このテーマに沿うよう、哲学的宗教的見地から1名、医学的生物学見地から1名を決定する予定。候補を各2名あげ依頼を進めること。当地区女性カウンセラー1名検討中。カウンセラーミーティングは4月25日～26日とし、講師は深川パストガバナーと安行委員で決定。受講生募集を青少年奉仕セミナーにてアピールする。

● 第7回青少年交換小委員会

8月26日(火)◆神戸東急イン「ボールルーム」

青少年交換小委員長 武田 寿子(神戸西)

1. タイ3350地区短期交換2015年春休み募集日程 9月中旬募集開始 5名 締切10月末
選考日 11月23日(日・祝)10～14時 第1回オリエンテーション12月23日(火・祝)
2. 「2015-16年度の交換は台湾の3490地区と長期3名を計画中。参加費30万とし、地区で預かり、使途は来日生の研修に充てる。短期はインターアクターを中心に近隣アジア諸国で来年夏に、ワンウェイで」と丸尾ガバナーエレクトが次年度の計画を発表した。
3. 「1月18日の全国青少年交換シンポジウムは三木明実行委員長を中心に早急に委員会として準備にかかるように。」と滝澤ガバナーから指示があり、9月22日18時30分より小委員会開催予定。



● 青少年交換派遣生帰国報告会

8月26日(火)◆神戸東急イン 「ボールルーム」

青少年交換小委員長 武田 寿子(神戸西)

滝澤ガバナーの挨拶ののち6名の派遣生が映像を交え帰国報告を行い、その成長ぶりを印象づけた。

短期(2014-2015年度)：奈良山公佑(D5040：カナダ)
 長期(2013-2014年度)：島本 佳奈(D1520：フランス)
 唐須也哉加(D4600：ブラジル)
 木場 雅浩(D7170：アメリカ)
 豊島 優香(D4430：ブラジル)

コメントは前年度の樋口委員長で、彼らの今後の活躍を期待するとともに、支援して下さった多くのクラブに感謝を述べた。

19時30分からは帰国生&学友会とホストファミリー・保護者・委員会メンバーの2組に分かれ、丸尾ガバナーエレクトの乾杯で食事と懇談を行い、和やかに終了した。



● 歴代ロータリーの友委員の会

8月29日(金)◆西村屋和味旬彩

2013-14年度ロータリーの友地区代表委員 中 和義(宝塚武庫川)

2680地区では初めて、歴代ロータリーの友委員を集めての会議を開催いたしました。当地区からは、ロータリーの友委員会の特別顧問および一般社団法人ロータリーの友事務所の理事として安平パストガバナーが、また今年度から大室直前ガバナーがロータリーの友委員会の顧問兼友事務所の理事として就任されており、「ロータリーの友」誌のあり方や会員に友誌を読んでいただく工夫等について意見交換を行いました。

会議は、滝澤ガバナーをはじめとして歴代委員4名を含め9名の出席で開催されました。内容的には、友委員会・友事務所の歴史、友委員の在り方、苦労話など有意義で充実した内容となりました。また、他地区の取組状況の報告もあり今後の検討課題といたしました。また、年1回程度継続的に本会議を行うという意思確認も併せて行いました。

2017-18年度 「ガバナーノミニ候補者」推薦のお願い

ガバナー指名委員会 委員長 中村 尚義(洲 本)

地区内各クラブは、RI細則13.020.4並びに当地区ガバナー指名委員会規約の規定に基づいて、自クラブに所属する会員で、RI細則15.070の各項目に適合する最適任の会員があれば、1名に限り「2017-18年度ガバナーノミニ候補者」として、ガバナー指名委員会に推薦することができます。(手続要覧ならびに地区規定による)

■必要書類

1. クラブ会長・幹事の署名のある推薦書
2. クラブ幹事によって証明された、推薦するというクラブの決議文
3. 候補者のロータリー活動や地域社会・職業上の奉仕活動を中心とした略歴書および写真1葉

■提出期限

2014年10月1日(水)～12月31日(水)
※期日厳守でお願い致します。

■提出先

ガバナー事務所内
ガバナー指名委員会 委員長 中村 尚義

※ガバナー指名委員会は、候補者の中から最適任者とするロータリアンを、ガバナーノミニとして指名致しますが、その選択の範囲は、地区内クラブから推薦された候補者に限定されるものではないことをご了承下さい。

ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

尼崎西



高野 克洋
司法書士
8/5入会



玉田 知規
楽器販売
8/19入会



前田 隆則
金属加工機械
7/24入会



村上 正人
機械部品製造
7/31入会



大波加正行
通信業
7/1入会



土居 武彦
企業監査
7/31入会

伊丹

甲子園

神戸

神戸

神戸東



榎山 淳
全国放送
7/31入会



西村 俊一
電信事業
7/31入会



塔本 均
建築
7/31入会



中田 勝彦
電気機器製造販売
6/17入会



貝沼 信行
証券会社
6/24入会



吉田 博
司法書士
6/24入会

加古川中央

相生

和田山



宮本鹿司夫
料亭
9/4入会



江見 重人
保温断熱材販売
7/2入会



下田 信治
金物製造
7/2入会



濱 篤史
柔道整復師
8/7入会

ご協力に感謝します(敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

第9回 米山功労者

第6回 米山功労者



瀬川 常雄
(甲子園)



山本 秀憲
(神戸六甲)



日下 孝明
(明石西)



稲本 幸雄
(あわじ中央)



山本 秀憲
(神戸六甲)



坂部 典生
(神戸六甲)

第4回 米山功労者

第2回 米山功労者



苅田孝太郎
(尼崎北)



瀬川 常雄
(甲子園)

訃報



故 市橋 大 氏(神戸ベイ)
8月18日 享年93歳



ガバナー事務所からのお知らせ

◆ガバナーエレクト事務所開設

開設日 2014年10月1日(水)
 所在地 〒651-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館16F
 TEL: 078-221-1000 FAX: 078-221-1013
 E-mail : elect-office@ri2680.org(2015年6月30日まで)
 office@ri2680.org(2015年7月1日より)
 執務時間 月～金曜日 10:00～17:00 (土・日・祝日は休み)

◆次年度行事日程変更 2015年2月1日(日) 2015-16年度補助金管理セミナー
 2015年3月15日(日) 地区研修・協議会リーダー会議
 2015年会長エレクト研修セミナー(PETS)

◆明石西RC事務局移転 明石西ロータリークラブの事務局が舞子ビラ430号室に移転しました。

◆地区委員の委嘱 米山奨学委員会 情報・寄付小委員会 委員 三宅 康雄(芦屋)

◆お詫びと訂正

3号(9月号)公式訪問だよりの神戸西RCの写真が間違っておりました。
 正しい写真は、地区ホームページで閲覧できる月信(デジタルブック)をご覧ください。

10月地区活動予定

日	時	行 事 名	場 所
1日(水)	16:00～	第3回クラブ奉仕委員会	神戸東急イン「メイプル」
4日(土)	15:00～	第7回職業奉仕委員会	神戸勤労会館407号室
5日(日)	14:00～	ロータリー財団セミナー・奉仕活動合同セミナー準備会	神戸ポートピアホテル 724号室
9日(木)	18:30～	第3回多様化小委員会	神戸ポートピアホテル 724号室
11日(土)	14:00～	第1回学友委員会及び4学友会との合同会議	神戸東急イン「ローズ」
12日(日)	10:00～	第9回補助金小委員会	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 3階演習室
12日(日)	13:00～	ロータリー財団セミナー	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B104
18日(土)	12:30～	職業奉仕西播地域セミナー	姫路商工会議所大ホール
18日(土)～19日(日)	13:30～	RYLA学友会のおどい	ウェルネスパーク五色
24日(金)	8:00～	第12回地区親睦ゴルフ大会	三木ゴルフ倶楽部
30日(木)	19:00～	第2回危機管理委員会	センタープラザ西館 第5会議室

文庫通信(324号)

地区大会講演 他

◎「80歳エベレスト登頂～希望の奇跡」	三浦雄一郎	2014	8p	(第42回ロータリー研究会報告書)
◎「世界遺産としての富士山」	井上 輝夫	2014	3p	(米山梅吉記念館館報)
◎「違うことはいいことだ」	大宅 映子	2014	4p	(D.2580地区大会の記録)
◎「ピンチをチャンスに！」	東国原英夫	2014	11p	(D.2790地区大会記録誌)
◎「グローバル時代の企業経営」	張 富士夫	2014	4p	(D.2760地区大会記録誌)
◎「『お金の世界』から『いのちの世界へ』」	菅野 典雄	2014	16p	(D.2510地区大会記録誌)
◎「『顔が赤くなる人は酒を飲むな』って…!？」	岡村 健	2014	5p	(福岡南RC月報)
◎「人間はいつ歳をとるのか」	牧田 静二	1998	2p	(月曜短信)
◎「天皇・皇后両陛下にお仕えして」	羽毛田信吾	2014	4p	(D.2600下伊那グループIM&会員セミナー報告書)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ロータリー文庫 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

国際ロータリー第2680地区 2014年8月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数					クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数			
				2014年7月1日	当月末	増減	女性					2014年7月1日	当月末	増減	女性
尼崎6	尼崎	3	84.13	32	34	2	1	東播第一4	明石	3	98.69	54	54	0	0
	尼崎北	4	94.92	40	40	0	0		明石西	3	100.00	43	43	0	0
	尼崎東	3	95.45	48	49	1	0		明石北	5	96.99	45	45	0	0
	尼崎西	3	100.00	34	36	2	1		明石南	4	96.64	24	24	0	0
	尼崎南	3	88.53	38	38	0	4		小計		98.08	166	166	0	0
	尼崎中	3	76.54	26	27	1	1		高砂	4	100.00	43	43	0	2
	小計		89.93	218	224	6	7		加古川	3	80.57	73	75	2	0
阪神第一5	伊丹	3	87.28	40	42	2	0	東播第二5	加古川中央	3	88.69	52	53	1	0
	川西	4	97.29	31	30	-1	4		高砂青松	3	84.67	47	47	0	2
	伊丹有明	4	90.12	29	29	0	0		加古川平成	3	88.89	12	12	0	1
	川西猪名川	3	95.77	24	24	0	4		小計		88.56	227	230	3	5
	伊丹昆陽池	3	95.37	21	22	1	0		三木	4	98.44	57	57	0	0
小計		93.17	145	147	2	8	小野加東	3	90.00	42	43	1	1		
阪神第二6	西宮	3	100.00	50	52	2	0	東播第三5	北条	3	98.20	37	38	1	2
	芦屋	3	87.48	48	49	1	0		西脇	3	97.65	43	44	1	2
	甲子園	3	92.80	42	43	1	1		三木みどり	3	98.15	36	36	0	0
	西宮夙川	4	90.97	39	41	2	5		小計		96.49	215	218	3	5
	芦屋川	4	89.54	24	25	1	1		洲本	3	90.10	37	37	0	0
	西宮恵美寿	3	85.30	25	25	0	5		南淡路	4	93.89	28	28	0	4
	小計		91.02	228	235	7	12		淡路三原	3	93.65	21	21	0	0
阪神第三8	宝塚	3	92.06	21	21	0	0	淡路5	津名	3	83.81	37	37	0	0
	三田	3	68.00	26	25	-1	0		あわじ中央	3	85.00	20	20	0	0
	篠山	3	100.00	44	44	0	0		小計		89.29	143	143	0	4
	柏原	3	90.70	50	50	0	0		姫路南	3	94.44	72	73	1	0
	宝塚武庫川	3	94.44	39	39	0	0		姫路西	3	78.62	71	71	0	2
	三田南	3	87.50	8	8	0	0		姫路东	4	100.00	74	74	0	1
	宝塚中	3	83.70	30	31	1	10		神崎	3	83.87	31	31	0	0
	HYOGOロータリーEクラブ	3	100.00	23	23	0	5		姫路中央	5	100.00	6	6	0	0
	小計		89.55	241	241	0	15		小計		91.73	344	346	2	3
神戸第一7	神戸	3	89.02	153	149	-4	0	西播第二4	赤穂	3	94.19	41	40	-1	0
	神戸東	3	85.73	108	108	0	0		相生	3	100.00	40	42	2	2
	神戸東灘	3	94.54	29	33	4	3		龍野	4	99.43	54	54	0	4
	神戸有馬	3	96.97	12	12	0	0		上郡佐用	4	96.74	23	23	0	6
	神戸南	3	84.29	75	76	1	0		小計		97.59	158	159	1	12
	神戸六甲	3	88.89	15	15	0	0		豊岡	4	95.67	33	35	2	1
	神戸ベイ	3	95.00	23	22	-1	3		生野	3	80.95	22	22	0	0
小計		90.63	415	415	0	6	香住	3	91.05	21	19	-2	0		
神戸第二7	神戸西	4	88.00	61	61	0	5	但馬5	豊岡円山川	4	84.34	21	21	0	0
	神戸須磨	3	75.30	35	37	2	0		和田山	3	88.56	22	23	1	1
	神戸北	4	76.44	27	27	0	1		小計		88.11	119	120	1	2
	神戸垂水	3	93.10	29	32	3	5		合計	73RC	91.70	2,857	2,886	29	94
	神戸ハーバー	4	100.00	7	7	0	0								
	神戸西神	3	92.50	39	38	-1	1								
	神戸中	3	90.50	40	40	0	3								
小計		87.98	238	242	4	15									

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2014年7月1日 クラブ会員数… 2,857人
 ◆2014年8月末 クラブ会員数… 2,886人

◆2014年8月末女性会員数…………… 94人
 ◆2014年8月平均出席率……………91.70%
 ◆増 減…………… 29人増